

Factors responsible for radiocesium transfer from soil to rice and soybeans after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident.

Shigeto Fujimura, Kohji Yamamura, Junko Ishikawa, Katashi Kubo, Shokichi Wakabayashi, **Takuro Shinano, Hayato Maruyama, Masataka Suzuki**

Science of the Total Environment, 2025, 995, 180044
<https://doi.org/10.1016/j.scitotenv.2025.180044>

福島県内のモニタリング圃場での9年間のデータを用いて、土壌の ^{137}Cs 、収穫物（イネ、大豆）の ^{137}Cs 濃度の決定要因の解析をモデル構築を行うことで行なった。その結果、土壌中の交換性 ^{137}Cs 濃度が極めて重要な要因であることが改めて明らかにされた。大豆子実では同じ土壌で玄米の12倍の ^{137}Cs 濃度になることが示され、これらの違いは土壌の交換性 ^{137}Cs 濃度の違いによってより明確に示されることが明らかになった。